

入選

「だいすきなパパへ」

岐阜県

垂井町立垂井小学校 一年

ことうくねは

「ただいまー」げんかんのドアがひらき、だいすきなパパがかえってきた。わたしともうとのかけっこのはじまり。ふたりでるつかをはしり、パパのとりあい。「ねえ、ねえ、パパ」「きいて、きいてきょうね…」とおはなしがっせんがはじまり、パパのあしにまわりつくわたしたち。そんなわたしたちに「かんべんしてくれー」といいながら、ニコニコえがおのパパのめはほそくなっている。けっきょく、そのあと、パパのしょくじのときひざのうえにはいつももうとがちょこんとすわり、パパはごはんをたべにくそうにしている。わたしはそんないもうとをうらやましくおもっています。

わたしのパパは、あさはやくから、よるおそくまできかいをつくるかいしゃではたらいている。おしょうがつやおぼんやすみもほとんどないので、とおくへりよこうにはいけなけれど、パパはわたしのゆうがくしきやそつえんしき、うんどうかいにはおやすみをとっていっしょにさんかしてくれる。ありがとうパパ。おやすみのひには、こうえんでボールあそびやじてんしゃのねんしゅうにつきあってくれたり、えほんもよんでくれてありがとう。パパはギターがじょうずなのでパパのひくギターにあわせて、いもうとといっしょにうたったり、おどったりするのが、わたしはだいすきです。

このまえ、パパがいつもとちがうこわいかおをして、「めがいたい。」といっつかえってきましたね。いたみだすたびに「うー、うー」とさげぶこえがよなかじゅつきこえてきて、わたしはしんぱいで、こわくなって「パパのめがよくなおりますように。パパがいつもえがおでいてくれますように。」「といのりました。つぎのひにはいつものパパにもどっていいたのであんしんしました。

だいすきなパパ、やさしいパパ、しことはすくなめにして、わたしといっしょにもっとたくさんあそんでね。そしてずっとずっとげんきでいてね。パパありがとう。